



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月14日

上場会社名 株式会社ノダ 上場取引所 東
コード番号 7879 URL <https://www.noda-co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 励
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 良知 正啓 TEL 03-5687-6222
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績(2025年12月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	48,294	2.0	206	—	20	—	557	—
2025年11月期第3四半期	47,348	△4.0	3	△99.5	△25	—	△472	—

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 1,291百万円(275.4%) 2025年11月期第3四半期 344百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	36.75	—
2025年11月期第3四半期	△30.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年11月期第3四半期	70,745	39,570	48.2	2,326.74
2025年11月期	72,807	39,550	46.8	2,175.43

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 34,074百万円 2025年11月期 34,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	18.00	—	15.00	33.00
2026年11月期	—	15.00	—	—	—
2026年11月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	65,000	0.5	400	—	△100	—	△100	△6.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年11月期 3 Q	17,339,200株	2025年11月期	17,339,200株
② 期末自己株式数	2026年11月期 3 Q	2,694,486株	2025年11月期	1,683,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年11月期 3 Q	15,168,611株	2025年11月期 3 Q	15,655,614株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年12月1日～2026年8月31日）におけるわが国経済は、物価上昇の影響が続くなか、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりや米国の対外政策の動向など不確実性の高い状況が続くとともに、為替相場が不安定な動きとなるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

住宅業界においては、建築費の高騰や住宅ローン金利の上昇、職人不足などを背景に住宅需要の低迷が続いておりますが、2025年4月の法改正（建築基準法、建築物省エネ法）に伴う着工の反動減が一巡したことなどから、当第3四半期連結累計期間の新設住宅着工戸数は前年同期比1.8%増となりました。特に木造の貸家は同5.2%増と堅調に推移しました。また、合板については、実需不足により国内相場は期初から弱含みで推移しておりましたが、第2四半期に入ると中東情勢を背景とした供給への懸念などから上昇基調へ転じました。

このような事業環境のもと当社グループは、新規顧客の獲得や既存顧客との取引深耕を図るため、内装建材シリーズ「カナエル」をはじめとする建材製品の付加価値提案を強化し、販売拡大に努めました。また、合板やMDF（中質繊維板）などの素材については、市場の需要動向を踏まえた機動的な生産調整と在庫管理を実施するとともに、コストに見合った適正な販売価格の設定に努めました。

さらに、中東情勢の緊迫が長期化することで、接着剤、塗料、梱包資材など石油化学製品の調達環境悪化が懸念されるなか、必要な資材の確保と安定した生産体制の維持に努め、製品の安定供給を継続いたしました。加えて、原材料や製造工程の見直し、配送効率の向上、固定費のコントロールなどを継続的に推進し、生産性の向上やコストアップの抑制に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高48,294百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益206百万円（前年同期は営業利益3百万円）、経常利益20百万円（前年同期は経常損失25百万円）となりました。また、投資有価証券売却益の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益557百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失472百万円）となりました。

◇セグメント別の状況

〔木質建材事業〕

2026年4月より「カナエル」の一部リニューアルを実施し、設計価格の改定に加え、新柄の追加など市場のニーズに対応した製品強化を行うことで、建材製品の付加価値向上と販売拡大に努めました。また、木造集合住宅等における生活音対策として、軽量・重量いずれの床衝撃音も低減する木造遮音・防火工法「シャーオン」の提案を強化するとともに、防音フロアの販売拡大を図りました。MDFについては、耐震性能や透湿性能に優れた「HBW」（構造用ハイベストウッド）の提案活動を推進いたしました。

これらの取り組みにより、新築戸建市場におけるシェア拡大に加え、貸家分野やリフォーム・リノベーション分野での需要獲得に努めました。あわせて、連結子会社の㈱ナフィックスおよび㈱アリモト工業との連携を強化し、材工（施工付き販売）の拡大や非住宅案件の受注拡大を推進いたしました。

なお、中東情勢に伴う原材料価格等の上昇が本格化するなか、第3四半期に建材製品およびMDF製品全般について販売価格の改定を行い、収益性の改善に一定の効果は得られました。しかしながら、住宅需要の低迷が続くなか、販売数量の本格的な回復には至りませんでした。この結果、木質建材事業の売上高は29,169百万円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は396百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

〔合板事業〕

合板については、国内需要の低迷が続くなか、国産・輸入ともに販売数量は低水準で推移いたしました。

国産針葉樹合板については、国内在庫の過剰感から販売競争が激化し、販売価格は期初から緩やかな下落傾向で推移いたしました。しかし、第2四半期に入ると中東情勢に伴う接着剤等の供給不安を背景に販売価格は上昇基調へ転じ、第3四半期もその流れを受け堅調に推移いたしました。

輸入南洋材合板についても、同様に販売価格は緩やかな上昇基調となりましたが、円安等による仕入コストの上昇が続くなか、需要の低迷により十分な価格転嫁には至らず、採算面では厳しい状況が継続いたしました。

この結果、合板事業の売上高は19,124百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は1,215百万円（前年同期比80.9%増）となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)	セグメント損益 (百万円)	前年同期比 (%)
木質建材事業	29,169	△0.2	60.4	396	△20.6
合板事業	19,124	+5.6	39.6	1,215	+80.9
調整額 ※	—	—	—	△1,406	—
合計	48,294	+2.0	100.0	206	—

※セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

(2) 財政状態に関する説明

◇資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は70,745百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,061百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少2,546百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,707百万円、電子記録債権の増加1,557百万円、製品の増加1,258百万円、投資有価証券の増加634百万円などによるものです。

負債は31,174百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,081百万円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少4,092百万円、電子記録債務の増加1,463百万円、短期借入金の増加2,225百万円、設備関係支払手形の減少569百万円、長期借入金の減少982百万円などによるものです。

純資産は39,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加557百万円及び配当による利益剰余金の減少454百万円、自己株式の増加684百万円、その他有価証券評価差額金の増加506百万円、為替換算調整勘定の増加83百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2026年11月期の通期連結業績予想を修正しております。内容等の詳細につきましては当該資料をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,228,728	16,681,932
受取手形、売掛金及び契約資産	11,891,116	9,183,451
電子記録債権	379,298	1,936,523
製品	6,584,187	7,842,592
仕掛品	1,456,353	1,607,665
原材料及び貯蔵品	3,071,321	3,332,845
その他	1,056,430	594,978
流動資産合計	43,667,437	41,179,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,607,186	5,556,424
機械装置及び運搬具（純額）	4,775,024	4,638,545
工具、器具及び備品（純額）	301,795	263,891
土地	6,277,043	6,229,772
立木	123,119	123,119
リース資産（純額）	473,035	464,290
建設仮勘定	199,370	142,886
有形固定資産合計	17,756,574	17,418,930
無形固定資産		
のれん	46,746	34,372
ソフトウェア仮勘定	-	232,690
その他	313,251	239,072
無形固定資産合計	359,998	506,134
投資その他の資産		
投資有価証券	10,098,306	10,733,225
繰延税金資産	91,579	52,768
その他	835,250	856,286
貸倒引当金	△2,000	△2,000
投資その他の資産合計	11,023,136	11,640,280
固定資産合計	29,139,709	29,565,346
資産合計	72,807,147	70,745,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,308,906	5,216,226
電子記録債務	1,292,030	2,755,078
短期借入金	8,015,837	10,241,606
未払金	1,958,546	1,488,363
賞与引当金	—	448,271
未払法人税等	101,329	240,405
設備関係支払手形	570,284	700
設備関係電子記録債務	217,381	496,360
その他	1,712,711	1,023,272
流動負債合計	23,177,028	21,910,285
固定負債		
長期借入金	3,288,340	2,306,000
リース債務	385,646	356,327
環境対策引当金	10,085	8,762
長期末払金	70,010	70,065
役員退職慰労引当金	13,941	13,941
退職給付に係る負債	5,011,453	4,968,542
繰延税金負債	1,289,469	1,530,056
その他	10,750	10,750
固定負債合計	10,079,696	9,264,445
負債合計	33,256,724	31,174,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	27,275,166	27,378,135
自己株式	△1,174,189	△1,858,568
株主資本合計	29,829,799	29,248,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,997,209	3,503,473
繰延ヘッジ損益	11,264	130
為替換算調整勘定	842,830	926,589
退職給付に係る調整累計額	376,557	395,891
その他の包括利益累計額合計	4,227,862	4,826,085
非支配株主持分	5,492,761	5,496,130
純資産合計	39,550,422	39,570,604
負債純資産合計	72,807,147	70,745,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
売上高	47,348,873	48,294,146
売上原価	37,708,454	38,198,523
売上総利益	9,640,419	10,095,623
販売費及び一般管理費	9,636,849	9,889,515
営業利益	3,570	206,107
営業外収益		
受取利息	19,095	30,733
受取配当金	154,870	138,543
受取保険金	1,315	99
その他	74,817	74,555
営業外収益合計	250,097	243,931
営業外費用		
支払利息	102,243	100,432
売上債権売却損	46,219	63,812
為替差損	17,098	-
持分法による投資損失	102,783	216,539
その他	10,722	48,413
営業外費用合計	279,068	429,198
経常利益又は経常損失(△)	△25,400	20,839
特別利益		
投資有価証券売却益	-	848,008
事業譲渡益	-	18,000
固定資産売却益	3,401	561
保険差益	-	5,489
補助金収入	-	202,834
特別利益合計	3,401	1,074,893
特別損失		
固定資産除却損	143,641	14,461
特別損失合計	143,641	14,461
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△165,640	1,081,272
法人税、住民税及び事業税	189,818	343,714
法人税等調整額	31,519	65,355
法人税等合計	221,337	409,070
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△386,978	672,201
非支配株主に帰属する四半期純利益	85,115	114,727
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△472,093	557,474

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△386,978	672,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	664,897	492,663
繰延ヘッジ損益	4,260	△11,133
為替換算調整勘定	△112,395	△55,875
退職給付に係る調整額	67,972	19,333
持分法適用会社に対する持分相当額	106,359	174,543
その他の包括利益合計	731,093	619,531
四半期包括利益	344,115	1,291,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,970	1,155,697
非支配株主に係る四半期包括利益	122,144	136,035

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	木質建材事業	合板事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	28,988,204	18,110,516	47,098,720	—	47,098,720
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	250,153	—	250,153	—	250,153
顧客との契約から生じる収益	29,238,357	18,110,516	47,348,873	—	47,348,873
外部顧客への売上高	29,238,357	18,110,516	47,348,873	—	47,348,873
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,688,148	1,688,148	△1,688,148	—
計	29,238,357	19,798,664	49,037,021	△1,688,148	47,348,873
セグメント利益	500,008	672,175	1,172,183	△1,168,613	3,570

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等151,743千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に一般管理費)△1,320,356千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

3. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社アリモト工業を連結範囲に含めたことにより、「木質建材事業」セグメントにおいてのれんが63,245千円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	木質建材事業	合板事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	28,784,755	19,124,748	47,909,503	—	47,909,503
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	384,643	—	384,643	—	384,643
顧客との契約から生じる収益	29,169,398	19,124,748	48,294,146	—	48,294,146
外部顧客への売上高	29,169,398	19,124,748	48,294,146	—	48,294,146
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	1,700,188	1,700,188	△1,700,188	—
計	29,169,398	20,824,936	49,994,334	△1,700,188	48,294,146
セグメント利益	396,992	1,215,632	1,612,624	△1,406,517	206,107

- (注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等17,071千円、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に一般管理費)△1,423,588千円であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。
3. 収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	1,398,131千円	1,528,202千円
のれん償却額	12,374	12,374